

学校名 手打小学校

校長名 馬場 勝博

番号	事項	評価項目	学校教職員による自己評価			学校関係者評価委員による評価(集約)				
			段階	人数	平均	段階	人数	平均		
1	(1)	校長の学校経営方針等が保護者や地域に伝わっている。	段階	人数	平均	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな場で伝える努力をしている。 ・ホームページ等どこまで見ていただいているか不明なため、今後呼びかけをしていきたい。 	段階	人数	平均	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会総会やあらゆる会議等で説明されているので伝わっていると思う。 ・学校の経営方針等がよく伝わる。 ・地域に対してよく説明している。
			A	6	3.4		A	2	3.3	
			B	7			B	6		
			C	1			C	0		
			D	0			D	0		
2	(1)	望ましい子供の姿(知・徳・体)に向かって数値的目標を設定し努力している。	段階	人数	平均		段階	人数	平均	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中での目標達成に努力されていると思う。
			A	6	3.2		A	2	3.3	
			B	7			B	6		
			C	1			C	0		
			D	1			D	0		
3	(2)	子供たちは、楽しそうに生き生きと学校生活を送っている。	段階	人数	平均	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども同士のトラブルはあるが、楽しそうに学校生活を行っている。 ・上下のつながりがあり、学校慣れも早かった。(1年生) 	段階	人数	平均	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観時、とても教室が明るく楽しい雰囲気である。 ・子供たちが元気で会話がはずんでいる。
			A	9	3.5		A	4	3.5	
			B	5			B	4		
			C	1			C	0		
			D	0			D	0		
4	(2)	いじめや不登校など生徒指導上の課題解決に向けて積極的に取り組んでいる。	段階	人数	平均	<ul style="list-style-type: none"> ・児童一人一人の細かい目配せを心がけている。 ・気になる児童について、全職員で共通理解をして、取り組んでいる。 	段階	人数	平均	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ・不登校がないのがよい。
			A	13	3.8		A	1	3.1	
			B	1			B	7		
			C	1			C	0		
			D	0			D	0		
5	(3)	子供たちの安全(登下校時、自然災害時)について細心の注意を払っている。	段階	人数	平均	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々から、あいさつをいただいたり、見守ってくださったりしており、感謝している。 	段階	人数	平均	<ul style="list-style-type: none"> ・7月の大雨、台風10号と災害が大きかった。教育委員会と連携されていたと思う。 ・みんな連れ立って登下校していて良好である。
			A	13	3.9		A	5	3.6	
			B	2			B	3		
			C	0			C	0		
			D	0			D	0		
6	(4)	教職員は、子供や保護者、地域との望ましい関係を築いている。	段階	人数	平均	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のパレーに参加したり、地域の行事参加するなどしている。 ・コロナ禍で地域との行事も制限されてしまった。行える範囲で、地域とのつながりを作りたい。 ・保護者への情報発信の在り方を見直していく。 	段階	人数	平均	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事等にも、積極的に参加され望ましい関係を築いていると思う。 ・地域への行事にも積極的に参加されている。
			A	6	3.3		A	5	3.6	
			B	8			B	3		
			C	1			C	0		
			D	0			D	0		
7	(5)	学校は常に整理整頓、清掃され、花や緑に囲まれている。	段階	人数	平均	<ul style="list-style-type: none"> ・人数減少に伴い、行き届かない点がある。地域の協力隊等の力を借りる。 ・主事の先生を中心に、環境美化に力を入れている。 	段階	人数	平均	<ul style="list-style-type: none"> ・四季折々の花で飾られ、清掃されている。 ・台風通過後の処理もほぼ終了している。枯れ木を除去したらよい。
			A	8	3.7		A	6	3.8	
			B	4			B	2		
			C	0			C	0		
			D	0			D	0		
8	(5)	学校の施設・設備は定期的に安全維持管理のための点検等がなされている。	段階	人数	平均	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な安全点検を行っており、必要箇所は早急に修繕を行っている。 	段階	人数	平均	<ul style="list-style-type: none"> 学校の遊具等の点検がされ、危険遊具に対して処理がなされている。
			A	13	3.9		A	2	3.1	
			B	2			B	5		
			C	0			C	1		
			D	0			D	0		
9	(7)	子供たちの学力や体力の実態が保護者や地域によく知らされている。	段階	人数	平均		段階	人数	平均	
			A	5	3.4		A	1	3.1	
			B	9			B	7		
			C	0			C	0		
			D	0			D	0		
10	(7)	保護者や地域は学校の教育活動に対して協力・支援を行っている。	段階	人数	平均	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物が期限内に揃わないことが多い。週報等で呼びかけをしていく。 ・行事での協力がありがたい。 	段階	人数	平均	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や地域は、教育活動に対して積極的に協力・支援している。 ・自分も参加してみて、保護者の協力・支援を強く感じた。
			A	5	3.2		A	3	3.4	
			B	7			B	5		
			C	2			C	0		
			D	0			D	0		

様式6 令和2年度 学校関係者評価結果

No. 2

学 校 名
手打小学校

番号	事項	評価項目	学校教職員による自己評価(集約)			対策・改善点	学校関係者評価委員による評価(集約)			
			評定(数値平均)				評定(数値平均)			主な意見
11	(6)	小中一貫教育は、積極的に実践され、子供たちの姿として現れている。	段階	人数	平均	・中期交流は、充実してた。 ・地域の方々に学習で協力をいただき、感謝している。	段階	人数	平均	
			A	4	3.2		A	3	3.4	
			B	8			B	5		
			C	1			C	0		
			D	0			D	0		
12	(6)	薩摩川内元気塾は、子供たちに夢や元気を与えてくれている。	段階	人数	平均	・コロナで活動が制限されたが、塩作りなど充実したものだった。 ・こしきの塩作りは、地域の人材を活用したよい取組であった。	段階	人数	平均	
			A	11	3.6		A	2	3.3	
			B	1			B	6		
			C	2			C	0		
			D	0			D	0		
13	(6)	英語教育の推進について、小・中学校の特質を活かして充実が図られている。	段階	人数	平均	・あまり交流が図れなかった。来年度は、計画的に交流したい。 ・小学校段階から英語の苦手意識を持つ生徒がいるので、小中連携を通じた授業研究が必要である。	段階	人数	平均	
			A	7	3.4		A	1	3.1	
			B	5			B	7		
			C	2			C	0		
			D	0			D	0		
14	(2)	子供たちは、学校や地域で進んであいさつをしている。	段階	人数	平均	・声が小さいので、大きな声であいさつできるように指導していく。 ・誰にでもとまでは、できていない。	段階	人数	平均	・子供たちは、地域であいさつをしっかりとやっている。 ・進んであいさつしてくれる。
			A	10	3.6		A	3	3.4	
			B	3			B	5		
			C	1			C	0		
			D	0			D	0		
15	(8)		段階	人数	平均		段階	人数	平均	
			A		#DIV/0!		A		#DIV/0!	
			B				B			
			C				C			
			D				D			

↑A=4点、B=3点、C=2点、D=1点として、学校教職員の評価を平均(小数第1位まで)

↑A=4点、B=3点、C=2点、D=1点として、学校関係者評価委員の評価を平均(小数第1位まで)

<学校関係者評価結果及び委員の意見等をふまえた次年度の改善点と対応策>

- いじめ・不登校0を今後も継続し、学校便り等で公表していく。
- 学校の予算を適切に執行し、早目の修繕・補修を行う。また、地域の協力隊の力を借りながら、学校環境整備に努めていく。
- 定着度調査の結果や全国学テの結果等を学校便りや週報等で発信する。また、体力テストの結果や、各種大会での受賞者等も公表し、地域・家庭に周知する。
- 小中連携を強化し、英語教育について研修を深め充実を図る。